

京の歳時記

四季折々、多彩な行事やお祭りが行われるのも京都の魅力。
京都へお越しの際は、その時期の行事をチェックしてみたいかな。

9月 September

観月の夕べ

9月22日～9月24日

嵯峨天皇の離宮として建てられ、真言宗大覚寺派の本山としても知られている旧嵯峨御所大本山大覚寺。その境内にある大沢池に舟を浮かべて、空と水面、2つの中秋の名月を眺めます。日本三大名月観賞地のひとつとして名高い、神秘的な空間を堪能してください。



8月 August

五山送り火

8月16日

東山如意ヶ嶽の「大文字」、金閣寺大北山(大文字山)の「左大文字」、松ヶ崎西山(万灯籠山)・東山(大黒天山)の「妙法」、西賀茂船山の「船形」、嵯峨曼荼羅山の「鳥居形」が一夜にして点火されます。先祖の魂と過ごした名残を惜しみつつ、送り火で冥府に戻るのを見届けましょう。



7月 July

祇園祭

7月1日～7月31日

およそ1100年前に神泉苑で日本全国の国の数の鉾66本を立て、祇園の神を祀り災厄の除去を祈る祇園御霊会を行ったのが始まり。見どころは山鉾巡行で、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。日本三大祭のひとつでもあり、その壮大さや豪華さは圧巻の一言です。



3月 March

東山花灯路

3月9日～3月18日

東山の街並みを情緒ある路地行灯で照らす観光イベント。思わず寄りたくなるような、しっとりとした京都の魅力であふれる街路はムード満点。併せて青蓮院や知恩院の特別拝観なども行われており、大人にぴったりの「夜の京都」が存分に味わえます。



2月 February

節分祭

2月3日

家で楽しむイメージが強い節分。たまには外にでてお祭り気分を楽しむのも、新鮮です。民俗芸能無形文化財である「石見神楽」が奉納される松尾大社や、室町時代から続く伝統を誇る吉田神社、ショーのような追儺式が人気の藤森神社など個性豊かな祭りが勢揃い。



1月 January

七福神めぐり

1月1日～1月31日

その年の御利益を祈って、京都の七福神をめぐることも粋な楽しみです。毘沙門天(東寺)から始まり、布袋尊(黄檗山萬福寺)や弁財天(六波羅蜜寺)など、さまざまな寺社を訪れると新しい発見があるかもしれません。バスツアーでも気軽に参加することができます。



12月 December

ロームイルミネーション

11月24日～12月25日

ローム本社の周辺や名倉公園に広がる光のオブジェたち。ロームの製品であるLEDが、幻想的な光の世界をつくりだしています。芝生広場ではアカベラコンサートや、映像ショーなども!京都市最大級のイルミネーションの輝きに、思わずこちらも踊ります。



11月 November

秋の特別拝観

10月下旬～12月上旬

紅葉の映える庭園やお寺を中心に、通常は非公開の文化財が特別公開されます。この特別公開は昭和40年にはじまった文化財愛護の普及啓蒙事業。人々の文化財への関心を高めるとともに、拝観料は貴重な文化財の保存維持に役立てられます。春・秋の年2回開催。



10月 October

時代祭

10月15日・21日・22日・23日

平安神宮のご祭神である桓武天皇と孝明天皇のご神霊に、京都の街を巡行していただくお祭り。使用する調度や衣装などは、平安京の造営された延暦時代のもを伝統工芸の技術で復元。観る人は「生きた時代絵巻」を楽しむことができます。京都三大祭の一つ。



6月 June

鵜飼

7月1日～9月23日

鵜匠が船上から数羽の海鵜を泳がせて手綱を引き、鮎などの川魚をとる伝統的な漁法。嵐山では平安時代から行われていた趣を残しながら、見物船でゆっくりその様子を眺めることができます。平安貴族のような気持ちで「夏の風物詩」を味わうのはいかがでしょうか。



5月 May

葵祭

5月15日

下鴨神社と上賀茂神社で平安時代からつづく、京都三大祭のひとつ。見どころの「路頭の儀」では平安貴族の衣装を着た人々と、牛や馬が当時の王朝行列を模して8キロの距離を歩きます。当時の雰囲気やうかがわせる、みやびな雰囲気を堪能してください。



4月 April

京のをどり

4月初旬～5月下旬

京都の花街で行われる、芸舞妓の舞踊公演。1872年(明治5年)京都博覧会の余興として舞妓・芸妓の舞いが披露され、今につづいています。祇園甲部「都をどり」、宮川町「京おどり」、上七軒「北野をどり」、先斗町「鴨川をどり」がそれぞれ楽しめます。

